

**令和5年度  
地域創生総合支援事業  
(サポート事業)  
南会津地域取組事例集**

**令和6年5月  
福島県南会津地方振興局**



## 実施事業一覧

### 【一般枠】

- (1) ヘルスツーリズム「森活(もりかつ)」実証事業
- (2) 木の里南会津・交流活性プロジェクト
- (3) 生業創出をめざすむらと都市の共生戦略ーコロナ後の生活様式変革を見据えてー
- (4) 只見米を活用した地域活性化事業
- (5) しもごろーカードを活用した新しい軽トラ市
- (6) 大学生サミット2024in南会津

### 【市町村枠】

- (7) 下郷町新たな観光資源発掘・強化事業
- (8) マイクロツーリズム推進事業
- (9) 八十里越交流事業
- (10) ココロもカラダもスッキリ健康事業
- (11) 「自然首都・只見」モンベルと連携したエコツーリズム推進事業
- (12) チームビルディングツーリズム事業

### 【過疎・中山間地域活性化枠(集落等活性化事業)】

- (13) 大内宿茶会
- (14) みんなで心豊かに、安心して住み続けられる集落(むら)づくり事業
- (15) 「なかあらい大地を育む会活動組織設立10周年記念誌」発刊事業

### 【過疎・中山間地域活性化枠(収益事業(スタートアップ支援事業)】

- (16) ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業

一般枠

## (1) ヘルスツーリズム「森活(もりかつ)」実証事業

継続3

【実施主体】 南会津ヘルスツーリズム推進協議会(南会津町)  
ポータルサイト ▶ <https://maizuhealthtourism.wixsite.com/minamiaizu>

### 事業の目的

社会的に需要の高い「健康」をテーマとして、森林資源をはじめとした地域資源を活用した観光コンテンツを開発し、南会津オリジナルの「ヘルスツーリズム」を構築することにより、南会津地域の活性化を図る。

### 令和5年度の事業内容

- 大学・企業と連携したモニターツアーの実施  
(8月、2月、3月の計3回実施。8月参加者数:15名、2月:6名、3月:18名)
- ヘルスツーリズムコンテンツのポータルサイトの構築(3月開設)
- 先進地視察研修(ヨーロッパにおけるグリーンツーリズム)による手法蓄積

(単位:千円)	R3	R4	R5
総事業費	3,607	3,660	3,510
補助金	2,418	2,500	2,356

〈モニターツアーの様子①〉



〈モニターツアーの様子②〉



### 事業を実施したことによる成果

- ・モニターツアー:ヘルスツーリズムのコンテンツにより、企業の研修機会や福利厚生場の場づくりに寄与した。
- ・ポータルサイト:地域に点在し、埋没していた観光資源を掘り起こし、ヘルスツーリズムの実施に必要な情報を集約できた。
- ・先進地視察研修:人材不足に悩む地域観光の改善において必要な手段や体制づくりを学ぶことができた。

### 今後の展望

- ・旅行商品の企画の充実と販売により、事業を自走化する。
- ・展示会への参加等、販路獲得のためのプロモーションを実施する。
- ・企業×集落の連携によるヘルスツーリズムの体制の定着を目指す。

【実施主体】 會津田島太鼓「白鼓」(南会津町)

會津田島太鼓ホームページ ▶ <https://www.tajima-taiko.com/>

事業の目的

人口減少、過疎化が進行している南会津町において、町外の太鼓団体との交流事業や、Webコンテンツによる南会津の情報発信を実施することで、関係人口・交流人口の増加を図る。

令和5年度の事業内容

- 地域外の学校の和太鼓クラブとの交流事業 参加者:15名  
(1泊2日 体験ワークショップ、合同練習、合同演奏会などを実施)
- 体験型イベント「UTTEGE FES」の開催 参加者:125名  
交流事業で実施した合同演奏会に併せて、来場者を対象とした和太鼓体験、体験ワークショップ等を実施し、町民や地域外からの観光客を誘客した。
- 交流事業のPR動画作成、Webコンテンツを活用した情報発信

(単位:千円)	R3	R4	R5
総事業費	1,956	1,859	928
補助金	1,467	1,378	696

〈合同演奏会の様子①〉



〈合同演奏会の様子②〉



事業を実施したことによる成果

地域の伝統文化である和太鼓を通じた交流会や情報発信により、住民と地域外との交流促進が図られ、交流人口・関係人口の拡大による地域活性化が期待される。

今後の展望

- ・補助終了後は交流事業参加料金や演奏会入場料について適正な価格を設定し、事業を自走化する。
- ・事業において整備したWebコンテンツを活用し、継続的な情報発信を行う。

### (3) 生業創出をめざすむらと都市の共生戦略 ーコロナ後の生活様式変革を見据えてー

【実施主体】 針生「むらの底力」協議会(南会津町)

Instagramアカウント:「南会津針生」@haryu\_field

#### 事業の目的

耕作放棄地の増加や地域の活力低下が課題となっている南会津町針生区において、集落内の森林や耕作放棄地を整備・活用することで、新たな生業の創出や、景観の美化、観光誘客を図る。

#### 令和5年度の事業内容

- 耕作放棄地の再生に向けた取組:対象田畑の集約管理、景観の再生
- 荒廃森林の再生に向けた取組:放置森林の集約管理、トレッキングコース造成、モニター利用(10月実施。参加者数:20名)
- 集落協議会の体制強化:集落におけるキーマンの参画、コーディネーター登用

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	6,708	4,579	—
補助金	4,015	3,402	—

〈放置森林の整備〉



〈トレッキングコースのモニター利用〉



#### 事業を実施したことによる成果

- ・対象となる耕作放棄地の調査と整備を行い、花卉種子の栽培等を行ったことにより、景観の改善が図られた。
- ・放置された民有林を集約し、森林整備やトレッキングコースの造成を行ったことにより、利活用の推進が図られた。
- ・集落協議会について、集落のキーマンとの協力体制を構築したことで、よりスムーズな事業実施が期待される。

#### 今後の展望

- ・耕作放棄地の再生:景観再生の拡大
- ・荒廃森林の再生:トレッキングコース造成の延伸、関係人口拡充を見据えた人材育成
- ・集落協議会の体制づくり:インバウンド誘客を目指すための受入体制づくり

【実施主体】 只見米ブランド協議会(只見町)

只見米ブランド協議会ホームページ ▶ <https://tadamirice.studio.site>

事業の目的

お米のふるまいのイベントを只見駅前で開催し、只見産米の魅力PR及び只見町への誘客促進、地域活性化を図る。また、只見産米を活用した地域活性化に関する意見交換会を実施することで、町民の地産地消に対する意識向上を図る。

令和5年度の事業内容

- お米のふるまいイベント「只見米フェス」の開催(10月28日実施、来場者約600名)  
新米の食べ比べや、地元高校生が考案した料理のふるまい、JA等とのコラボ、ライシーホワイト(県産米をPRするキャンペーンクルー)をゲストに招く等を実施した。
- 地元高校生との意見交換(2月2日実施、高校生6名参加)  
只見高校生と只見産米を活用した地域活性化について意見交換を行い、今後の取組に活かす。

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	843	517	—
補助金	562	327	—

事業を実施したことによる成果

- ・イベントには約600名の来場があり、町民及び紅葉や只見線を目的に来た観光客に只見米をPRできた。
- ・只見駅前広場でイベントを開催したことで、只見駅前の活性化に寄与した。
- ・地元高校生と連携することで、地産地消に対する意識の向上が期待できる。

今後の展望

意見交換会やイベント中に行ったアンケートの内容を踏まえ、次年度以降も引き続きイベントを実施し、只見米の認知度の向上及び地域活性化を図る。

〈只見米フェス①〉



〈只見米フェス②〉



一般枠

## (5) しもごろーカードを利用した新しい軽トラ市

新規

【実施主体】 下郷町商工会(下郷町)

下郷町商工会ホームページ ▶ <http://shimogo-sk.or.jp/>

### 事業の目的

人口減少や少子高齢化の進行により、町のインフラである商店街等の機能低下が課題となっている下郷町において、商工会と町が連携して実施するポイントカードシステム「しもごろーカード」を活用した軽トラ市及び加盟店ポイントラリーを開催し、商店街機能の維持及び地域活力の向上を図る。

### 令和5年度の事業内容

- 軽トラ市出店者説明会の開催(①8月18日、②10月5日)
- しもごろーカードと連携した軽トラ市の開催(①8月26日、②10月14日)
- 軽トラ市ポイントラリーの開催(①7月19日～8月26日、②9月20日～10月20日)
- ポイントラリーボーナスポイント等引換(①8月26日～31日、②10月14日～25日)

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	5,106	—	—
補助金	3,328	—	—

〈第1回軽トラ市〉



〈第2回軽トラ市、端末操作の様子〉



### 事業を実施したことによる成果

- ・軽トラ市には多少の入れ替わりはあったものの1回目、2回目とも予想を上回る22店舗の出店者があり賑わった
- ・軽トラ市ポイントラリーには当日出店者のほか「しもごろーカード」全加盟店(①73店舗、②72店舗)が参加し、賑わい創出に貢献した
- ・ボーナスポイント獲得者は①183人64,200P②167人68,400Pであった

### 今後の展望

- ・軽トラ市を町内に根付かせるため継続し、さらなる賑わいを作るため出店者の増加を図る
- ・商店街等のこれ以上の機能低下にならぬようポイントラリーを継続維持し軽トラ市が単発のイベントで終わらぬよう連携して行っていく



一般枠

## (6) 大学生サミット2024in南会津

新規

【実施主体】 森林の里応援団(只見町)  
森林の分校ふざわホームページ ▶ <https://www.fuzawa.org/>

### 事業の目的

人口減少・少子高齢化や交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図るため、大学生と連携して、現地調査、先進地視察、ワークショップ等を通じた地域課題の掘り起こしや、その解決に向けた方策を検討する。

### 令和5年度の事業内容

- 大学生グループによる現地調査・活動  
地域課題の研究を行っている、または興味がある大学に委託し、地域課題解決に向けた調査を行った。
- 大学生サミットの開催(3月18日実施。8団体参加)  
大学生による調査の活動報告や地域振興に関する意見交換会を実施し、課題解決について検討した。
- 裏大学生サミットの開催(8月11-12日実施。7団体参加)  
サミットでの活発な意見交換の下地づくりや、只見町に関わっている学生の輪を広げることを目的に、只見町の魅力を理解できる内容の交流イベントを実施した。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	2,324	—	—
補助金	1,620	—	—

### 事業を実施したことによる成果

- ・南会津地域では、大学生団体の活動は「点」で存在し、事業終了後は地域との関わりが失われてしまう事例が多かったが、「点」を結ぶことで、大学生と集落の有機的なつながりを生み、継続的な活動の必要性を再認識するとともに、関係人口の増が図られた。
- ・集落または1企業と学生が協定を結び活動するモデルケースとなり、別集落や別企業も参画しやすくなった。

〈裏大学生サミット①〉



〈裏大学生サミット②〉



### 今後の展望

大学生サミットを継続して開催し、次年度以降は、近隣の地域で活動している大学生団体も巻き込み規模を拡大していく。

【実施主体】 下郷町

下郷町ホームページ ▶ <https://www.town.shimogo.fukushima.jp/>

## 事業の目的

震災や新型コロナウイルスの影響により減少した観光客入込数の回復を目的として、観光トレッキングルートの開発や観光地のライトアップを実施する。また、観光プロモーションビデオを作成・配信し、町の知名度向上を図る。

## 令和5年度の事業内容

- 観光トレッキングルート資源調査  
「会津中街道」と呼ばれる昔の道型の調査・整備を実施。
- 撮影スポットポータルサイト「フォトナビ下郷」の開設
- 観光地のライトアップ  
紅葉期の観音沼森林公園、大内宿雪まつりで実施。

(単位:千円)	R3	R4	R5
総事業費	11,457	11,434	12,157
補助金	8,592	8,575	9,117

## 事業を実施したことによる成果

- ・観光トレッキングルートを開発したことで、今まで気が付かなかったビューポイントなど、新たな観光資源が発掘でき、誘客につながる事が期待される。
- ・「フォトナビ下郷」の開設により、これまでは注目されなかった観光スポット等のPRにつながった。

## 今後の展望

- ・令和3年度から令和5年度にかけて、情報発信の強化、新たな観光資源の発掘、既存観光資源の磨き上げを行うことができた。今後も、事業を継続するとともに、世の中の変化に対応し、飽きさせない観光地づくりを進めたい。

## 〈観光トレッキングルート資源調査〉



## 〈「フォトナビ下郷」の開設〉



【実施主体】 檜枝岐村

檜枝岐村ホームページ ▶ <https://www.vill.hinoemata.lg.jp/>

## 事業の目的

新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光客入込数の回復を目的として、「新しい生活様式」に沿った「マイクロツーリズム」を推進するため、県内・隣県などの近隣エリアへの広告配信や、アウトドアショップへのブース出展を実施する。

## 令和5年度の事業内容

- 新聞を活用した情報発信(民報、民友)
- 釣り業界誌とのタイアップ
- イベントPRブースの出展(WILD-1仙台台泉店、モンベルひたちなか店)
- テレビ番組誘致(「カミナリのチャリ旅」「ゴジてれChu! 故郷キャラバン」等) 他

(単位:千円)	R3	R4	R5
総事業費	8,000	8,052	7,390
補助金	6,000	6,039	5,542

## 事業を実施したことによる成果

- ・県内及び近隣県へ集中的に広報を行うことで、新型コロナで先行きが不透明だったなかでも、顧客・受入側ともに安全・安心な誘客を行うことができた。
- ・村内の宿泊キャパシティ減に直面するなか、県内及び近隣県の顧客であれば日帰りも可能なため、村内が満室となってもイベント等の集客数に寄与するというメリットもあった。

〈WILD-1仙台台泉店でのPR〉



〈カミナリのチャリ旅口ケ風景〉



## 今後の展望

- ・事業実施の結果、効果の高かった広報手段については自走していく。
- ・新型コロナも収束したことから、若年層やインバウンドなど新たなターゲットの誘客を図る。

【実施主体】 南会津町

南会津町ホームページ ▶ <https://www.town.minamiaizu.lg.jp/>

## 事業の目的

都市間交流の衰退や、商工業・観光業の衰退が課題となっている南会津町において、令和8年開通予定の国道289号「八十里越」道路をテーマとしたツアーを実施することにより、都市間交流に向けた機運醸成や、事業者間の連携促進を図る。

## 令和5年度の事業内容

## ○モニターツアーの実施

1回目 対象:南会津町内事業者 2事業者3名参加

2回目 対象:新潟方面の住民 21名参加(只見町、南会津町の観光地等を訪問)

3回目 対象:南会津町民 19名参加(新潟県三条市の観光地訪問、工事現場見学)

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	977	1,494	—
補助金	781	1,195	—

〈モニターツアーの様子①〉



〈モニターツアーの様子②〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・事業者を対象としたモニターツアーの実施により、南会津・新潟の事業者間の相互交流促進が期待できる。
- ・新たに新潟方面の住民をターゲットとしたモニターツアーを実施したことにより、南会津地域の観光コンテンツ等の認知度向上が図られた。

## 今後の展望

- ・新潟方面の住民をターゲットとしたモニターツアーの重点的な実施や、新潟の旅行会社との連携等、八十里越道路開通後の誘客促進に向けた取組を強化する。

【実施主体】 檜枝岐村

檜枝岐村ホームページ ▶ <http://www.vill.hinoemata.lg.jp/>

## 事業の目的

ストレスを感じている村民が増加傾向にある中、運動によるストレスの発散の仕方やマインドフルネスの考え方に基づくストレスの制御の仕方の学習に加え、ウォーキングの講師による講演会を開き、日課としての運動の定着を促進することで、ストレスの解消をメインとした心身の健康維持増進を図る。

## 令和5年度の事業内容

- カラダスッキリコース(有酸素運動・無酸素運動)(47回実施。参加者数:183名)
- ココロスッキリコース(マインドフルネスの考えに基づいた、心身のコンディションの整理)(46回実施。参加者数:156名)
- ウォーキングイベント(エポリューションウォーキング®を活用した健康的な歩き方の講習)(1回実施。参加者数:9名)

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	1,033	—	—
補助金	775	—	—

## 事業を実施したことによる成果

- ・事業に参加してもらった方にはストレスを軽減することができた。
- ・セルフケア能力が向上し、日頃からストレスを抱え込むという状況が減少し、心身の健康維持につなげることができた。

〈カラダスッキリコース〉



〈ウォーキングイベント〉



## 今後の展望

- ・健康づくりについて友人等に広めてもらい、事業への参加者を増加させていきたい。

【実施主体】 只見町

只見町ホームページ ▶ <https://www.town.tadami.lg.jp/>

## 事業の目的

只見町では、豊かな自然を軸とした誘客促進を目指しているが、自然を活かしたアクティビティのガイド不足及び高齢化が課題となっている。そこで、町内のアクティビティを周遊できるルートマップの作成や、ガイドの養成を実施することで、独自のツアー造成や誘客促進、ガイドの所得向上を目指す。

## 令和5年度の事業内容

- アクティビティガイド養成のためのモニターツアー(①9月7日 ②9月28日 ③10月19日、延べ14名)  
カヤックやトレッキング、自転車といったアクティビティのガイドを養成するためのモニターツアーを実施し、道具の扱い方や救助方法の研修や野外での実践を行った。
- アクティビティ周遊ルートマップの作成  
モニターツアーや調査の結果を踏まえ、周遊ルートを決め、(株)モンベルが発行している冊子「ジャパンエコトラック」に掲載。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	13,398	—	—
補助金	10,000	—	—

〈ガイド養成モニターツアー①〉



〈ガイド養成モニターツアー②〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・事業実施により、登山、カヤック等のガイドを育成し、町独自のツアー造成や誘客促進に繋がった。
- ・モンベルから高度な知識や技術を学ぶことにより、質の高いガイドを育成し、只見町のガイドのレベルを上げ、ガイドの所得向上に寄与した。

## 今後の展望

次年度以降も、アクティビティガイドの養成を引き続き行っていくほか、モンベルと連携し、商品としてのツアーを実施する予定。

【実施主体】 南会津町

南会津町ホームページ ▶ <https://www.town.minamiaizu.lg.jp/>

## 事業の目的

観光客数の減少が課題となっている南会津町において、地域資源を活用した「企業研修(企業の教育旅行)」を誘致することで、交流・関係人口の創出を図る。また、将来的には企業研修に参加した企業と町内事業者の新たなつながりから、販路拡大や共同事業の開発等も視野に入れる。

〈理念・経営方針の課題解決の  
評価が高い製材所視察〉



## 令和5年度の事業内容

- チームビルディングツーリズム推進協議会の開催
- 町内視察会(モニターツアー)の開催  
11月4-5日実施、町内事業者16名、首都圏の研修会社2名参加
- チームビルディングツーリズムポータルサイトの構築(公開は令和6年度を予定)
- インナーチームビルディングワークショップの開催(参加対象:推進協議会 会員)

〈社内コミュニケーションの課題  
解決の評価が高いジップライン〉



(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	9,700	—	—
補助金	7,759	—	—

## 事業を実施したことによる成果

- ・地域の事業者が地域を知り、魅力を再確認する機会になった。
- ・新たな町内事業者間の事業連携が生まれた。
- ・町内視察会等を通して、企業研修(企業の教育旅行)のメニューとして、付加価値の高いコンテンツであることを認識できた。

## 今後の展望

研修に参加された企業とのつながりから、継続的に町に訪れてもらい交流人口・関係人口の創出を図るとともに、販路拡大や共同事業開発も視野に入れ、町内事業者の認知度アップに寄与する。

【実施主体】 大内区(下郷町)

大内区ホームページ ▶ <https://ouchi-juku.com/>

## 事業の目的

東日本大震災や新型コロナウイルスの影響による観光客数の減少が課題となっている大内宿において、近年注目されている体験型観光に対応したイベント「大内宿茶会」を開催し、観光誘客の促進や地域の賑わい創出を図る。

## 令和5年度の事業内容

- 大内宿茶会の開催(令和5年6月11日実施)(有料入場者数 190名)
- 茶会当日に下郷町商工会と協力し「しもごろーカード」ポイントを参加者に付与
- 茶会当日に南会津高校茶道部に協力を求め、地域の学校との交流を図る
- 茶会当日に下郷町観光公社の協力を得て、希望する参加者に着物等の着付けサービスを実施(着付け利用者数 4名)

(単位:千円)	R元	R2	R5
総事業費	1,918	2,313	2,661
補助金	1,440	1,680	2,062

〈お茶会の様子① お茶の先生による点茶〉



〈お茶会の様子② 南会津高校生によるお運び〉



## 事業を実施したことによる成果

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶり3回目の開催となったが、地元の人々にとって茶道が身近に感じるようになったのではないと思われる。また、近隣市町村からの茶道関係者を中心とした参加者が多く見られ、近隣市町村との人的交流が図られた。

## 今後の展望

近隣観光地や他の茶会との連携を図り、多くの来場者を確保し、交流人口の増加を目指す。また、補助事業期間に得たノウハウ等を駆使し、区からの資金や協賛金、また参加者からの対価を得ながら、来年度以降も継続して茶会を実施していく。



【実施主体】 布沢区(只見町)

## 事業の目的

人口減少と地域経済の衰退が課題になっている布沢区において、「地域資源加工所」及び地区農産物等を活用した「レストラン」の立ち上げ、運営を行うことで、地域資源を活かした生業おこしを図る。加えて、山村の暮らしを体験できる施設を運営することで、移住人口の増加を図る。

## 令和5年度の事業内容

○「ふざわ食堂」「布沢資源加工所」立ち上げ(11月19日オープン)

集落への観光客や町民を対象に、地元食材を活かした軽食や土産品の販売を行うことで、新たな生業を起こした。さらに、集落情報発信の拠点とした。

○「山里の暮らし体験の家 森林の学び舎」の運営

大学生と都市住民が山村の暮らしを体験できる施設を運営し、体験プランを通して移住や二地域居城の増加に繋げた。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	7,378	—	—
補助金	5,000	—	—

〈ふざわ食堂外観〉



〈ふざわ食堂内観〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・新たな生業を起こすことで、区民の生きがい及びやりがいを創出するほか、所得向上に寄与した。
- ・宇都宮大学など複数の大学が「山里の暮らし体験の家」を利用し、交流人口の拡大につなげた。

## 今後の展望

次年度以降も引き続き施設を運営していくほか、各施設のさらなるインフラの整備や充実を実施する。

新規

【実施主体】 なかあらい大地を育む会活動組織(南会津町)

## 事業の目的

人口減少・少子高齢化が急速に進展する中荒井区において、集落内の優良農地の維持管理・保全等を推進することを目的に設立した「なかあらい大地を育む会活動組織」のこれまでの活動を記録した記念誌を作成し、活動を継承する人材育成および地域の持続的発展を図る。

## 令和5年度の事業内容

- 「なかあらい大地を育む会活動組織設立10周年記念誌作成委員会」の設置(20名)
- 「なかあらい大地を育む会活動組織設立10周年記念誌」の作成(150部)
- 記念誌を会員(集落住民)および関係機関(国・県・町等)に配本

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	1,920	—	—
補助金	1,536	—	—

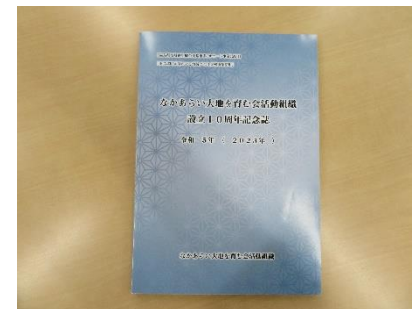
## 事業を実施したことによる成果

- ・記念誌の作成により、地域住民の地域づくりに対する意識醸成が測られた。
- ・他地域の住民から、「本記念誌を参考にして集落の活性化を図りたい」という声があり、本事業の目的である地域づくり人材育成を促進する効果が認められた。

## 今後の展望

記念誌の活用により地域のこれまでの歩みや活動を広く共有し、地域の活性化や持続的発展に寄与する。

〈記念誌①〉



〈記念誌②〉



## (16)ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業

新規

【実施主体】 只見里山づくり協議会(只見町)  
Instagramアカウント▶「新国農園」@nikkuni\_farm

### 事業の目的

只見町只見地区では、只見線沿線に耕作放棄地が広がり、景観を損なっているという課題がある。その課題を解消するため、羊を用いた除草を行い、景観整備を実施するとともに、小学校と連携した動物のふれあい事業を実施し、児童の動物愛護精神の醸成に寄与する。

### 令和5年度の事業内容

- 羊を用いた景観整備  
購入した羊3頭を用い、只見線沿線や町内小学校付近の耕作放棄地の除草を実施。
- 小学校と連携した動物とのふれあい事業  
町内各小学校と連携し、近年少なくなった動物と児童がふれあう機会を設け、児童の動物愛護精神を育む。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	1,576	—	—
補助金	1,359	—	—

### 事業を実施したことによる成果

- ・羊による農地等の除草を促進することで、観光路線である只見線沿線の景観を美化、観光誘客の促進につなげた。
- ・高齢化が進み、管理が行き届かなくなっている農地等に対し、草刈り作業の負担を軽減した。
- ・羊が子どもだけでなく大人からも人気ものになり、多くの地域行事に参画したことで、新たな交流が生まれ、地域活性化に寄与した。

〈羊の様子〉



〈羊小屋〉



### 今後の展望

次年度以降も、除草範囲を拡大しながら羊による地域活性化を行っていく。また、羊グッズの作成及び販売を行い、餌代を確保して持続できる運営体制を整えていく。

